

文字摺通信

第 104 号
2026年 1月15日
発行:文字摺歴史文化社

太宰府？大宰府？

天満宮の仮殿は今・・・

昨年暮に親戚筋の関係で、福岡市に2泊3日で行って来ました。
せっかく福岡に来たのだからと、太宰府天満宮に行って来ました。
元高校の日本史教員として蘊蓄を一つ。

菅原道真が流された役所の名称は**大宰府**、役職名は**大宰権帥**（だざいのごんのそち）。天満宮は**太宰府**、天満宮が所在する都市名は**太宰府市**、です。

西鉄天神駅から西鉄大牟田線に乗車、二日市駅で大宰府線に乗り換え、終点太宰府駅へ、ここまでおよそ30分。下車してすぐ太宰府天満宮参道になります。平日の午後1時過ぎなのに、参道は観光客がいっぱい。参道両側のお土産屋さんもお客さんでいっぱい。まるで浅草浅草寺参道のような様相。聞こえてくる会話は中国語と韓国語がほとんどでした。

石造二重太鼓橋を渡り、隨身門をくぐると天満宮殿が目の前にあります。今回事前調べもなしで大宰府に来た私にとって、その建物を見てびっくり。右の写真が仮殿です。重要文化財「御本殿」が令和5年5月から3年かけての大改修工事が始まり、その期間本殿前に仮殿を作ったのですが、その仮殿が右の写真です。今年の大阪万博の会場デザインプロデューサーを務めた藤本壮介氏の事務所が、道真公を慕う梅の木が一夜のうちに大宰府まで飛んできた飛梅伝説にヒントを得て設計したそうで、金属製の仮殿の屋上には木々が植えてあります。祈願を受ける人たちは靴を履いたまま殿上に上がり宮司さんからお払いと祝詞奏上を受けていました。仮殿への参拝は令和8年5月上旬までで、本殿の改修工事が終了するとこの仮殿は取り払われる予定です。

境内には狛犬が数対ありましたが、そのうちの一つは頭上に角のある狛犬でした（右写真）。福島県内では見かけない古い形式の狛犬です。珍しい狛犬に思わず写真を一枚パチリ。

